

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	142.13
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	142.23	1.1022	156.67	1.3076	0.6654
SYD-NY High	142.55	1.1054	156.97	1.3112	0.6676
SYD-NY Low	140.71	1.1002	155.48	1.3003	0.6622
NY 5:00 PM	142.36	1.1011	156.84	1.3044	0.6676
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,861.71	124.75	日本2年債	0.3800%	▲0.0100%
NASDAQ	17,395.53	369.65	日本10年債	0.8500%	▲0.0400%
S&P	5,554.13	58.61	米国2年債	3.6488%	0.0537%
日経平均	35,619.77	▲ 539.39	米国5年債	3.4514%	0.0299%
TOPIX	2,530.67	▲ 45.87	米国10年債	3.6600%	0.0205%
シカゴ日経先物	36,120.00	▲ 30.00	独10年債	2.0965%	▲0.0500%
ロンドンFT	8,193.94	▲ 12.04	英10年債	3.7615%	▲0.0560%
DAX	18,330.27	64.35	豪10年債	3.8630%	▲0.0580%
ハンセン指数	17,108.71	▲ 125.38	USDJPY 1M Vol	12.34%	▲0.20%
上海総合	2,721.80	▲ 22.40	USDJPY 3M Vol	11.71%	0.00%
NY金	2,545.60	2.50	USDJPY 6M Vol	10.76%	▲0.03%
WTI	66.32	0.57	USDJPY 1M 25RR	▲1.99%	Yen Call Over
CRB指数	269.36	3.88	EURJPY 3M Vol	10.69%	0.08%
ドルインデックス	101.68	0.05	EURJPY 6M Vol	10.16%	0.06%

東京	東京時間のドル円は142.23レベルでオープン。仲値にかけてドルがやや買われ一時142.43まで上昇。その後、米国で開かれた大統領選候補者テレビ討論会を受けて、ハリス氏優勢の見方が強まり一転ドル売りに。さらに、中川日銀審議委員が同時時間帯に発言した内容が効派と解釈され、円買い圧力も強まり140.71まで続落。一巡後は141円台を回復し、141.37レベルで欧州に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.37レベルでオープン。東京時間からは一変、午後に控える米8月CPIを意識してか、クロス円の上昇を伴って巻き戻され141.79まで上昇し、結局141.70レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3096レベルでオープン。英7月GDPが発表され、市場予想を下回ったことから下半期の景気減速が予想され、利下げ織り込みが強まった。一方で市場への影響は限定的で方向感なく推移し、結局1.3091レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台半ばでスタート。中川日銀審議委員の「今後の経済・物価見通しが実現していけば、金融緩和の度合いを調整していく」との発言が伝わると、市場は円買いで反応し、140.71まで下落。その後は注目の米CPI発表を控え、ポジション調整等の動きから徐々に戻し、141.70レベルでNYオープン。朝方に発表された米8月コアCPI(前月比)が予想を上回り、発表直後は買いが先行し、142.55まで上昇。しかし、その後は米株式主要3指数の軟調な展開が重しとなり、一転リスクオフの円買いが優勢となり、141.25まで値を下げる。午後は下落していた米株が反転上昇する展開を受け、142.40付近まで円が売り戻され、その後142.36レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.10台前半でスタート。米大統領選討論会の内容を受け、ドル売りの展開となり、じり高で推移し、1.1043レベルでNYオープン。午前中に発表された米8月コアCPI(前月比)が予想を上回り、ドル買い地合いが重しとなり、1.1002まで下落。午後は1.1030付近まで反発するも、その後再び失速し、1.1011レベルでクロス。

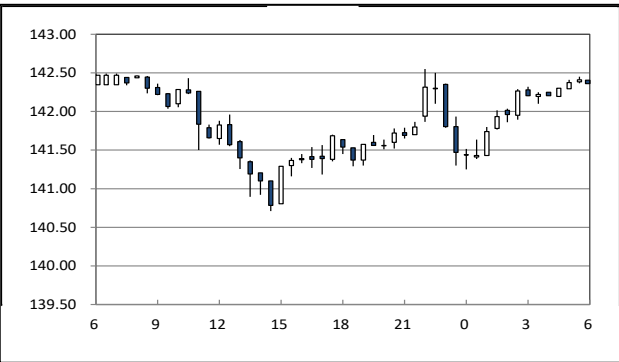
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月11日	10:30	日 中川日銀審議委員発言	「経済・物価見通しが実現していけば、金融緩和の度合いを調整する」	
	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 -0.8%/-1.2%	0.3%/-0.1%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.5%	0.2%/2.5%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	8月 0.3%/3.2%	0.2%/3.2%

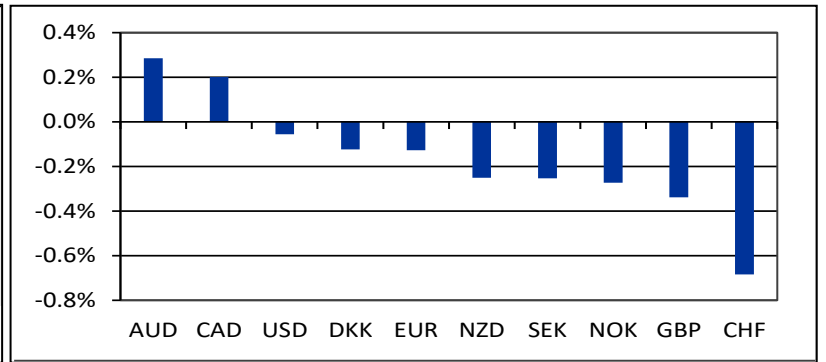
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月12日	10:00	日 田村日銀審議委員発言	-	-
	21:15	欧 ECB預金ファシリティ・レート	7月 3.50%	3.75%
	21:15	欧 ECB主要政策金利	7月 3.65%	4.25%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/1.7%	0.1%/2.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	8月 227k	227k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.00-143.50	1.0900-1.1050	155.50-157.50

【マーケット・インプレッション】

海外時間におけるドル/円は、一時142円台半ば付近まで買い戻された。東京時間終盤にかけては円買いが強まり一時140円台後半まで下落したが、欧州時間序盤は141円台半ばまで値を戻す展開。米8月CPIのコア指数が前月比で予想外の上昇となると、買い戻しが加速し142円台半ば付近まで値を戻した。その後、米金利が低下に転じた局面では一時141円台半ば付近まで反落する場面も見られたが、一服後は再び上昇に転じ142円台前半まで回復してクローズした。本日のドル/円相場は底堅い推移を予想する。昨晚発表された米8月CPIコア指数の上昇を受けて9月FOMCでの大幅な利下げ期待が後退しておりドル/円は下げづらい相場展開となるだろう。一方で、昨日は日銀委員の発言を受けて本邦の金融正常化が意識される場面も見られたが、日銀は利上げを急がないとの見方も多い。ドル/円は141円～143円台のレンジを中心とした底堅い推移が継続するのではないかと見られる。また、今晚は9月ECB理事会が予定されており政策金利の引き下げが予想されている。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。